

Vslzer-Cantabile
Carlo Munier op 192
歌謡調ワルツ
カルロ・ムニエル作曲
作品192番

作者は1859年7月15日ナポリに生まれ1911年2月11日フィレンツェに逝いたマンドリン音楽の父とも称される作曲家。
ナポリの著名なマンドリン製作者パスクワレ・ヴィナッチアはムニエルの大伯父に当たり、折りしもマンドリン音楽勃興時に際会し、マンドリンに対して異常な愛を持つに至り、四面楚歌の中にあって孤軍奮闘、生涯に捧げるに至った。
1900年に最初の出版を見たが、後に他の三曲と組み合わされて、ネリー・アルバムとなり娘に贈られている。
ムニエルの作品はソロ曲と三つのプレクトラム四重奏に代表されているけれど、本曲の味こそは、マンドリン音楽搖籃期、作者の沸々たる斯楽への愛情を感じる佳曲で、忘却の彼方におき去るに忍びないので敢えて加えた。
燦し銀の味とま云うべきか、徒に華奢を求めず、作者の性格が素直に伝わるところに代え難しい妙味がある。

追加資料

遺稿

中野二郎編著

「マンドリン ロマンの薫り」より